

## 2 松田学通信

【発行元】松田政策研究所  
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-1-7-472  
TEL : 03-6434-7354  
URL : <http://matsuda-manabu.jp>  
E-mail : [matsuda@yd-con.com](mailto:matsuda@yd-con.com)



2018.11

松田政策研究所

## 新著『サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う』 ～松田学代表 インタビュー～



【質問】今夏に出版された松田先生の著書である『サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う』について出版の意図、概要についてお聞かせ下さい。

【松田学】はい、近年の情報技術の加速度的な進歩で、私たち人類の文明はサイバー・電脳空間に依存する度合いが高まる一方です。これに伴い、この目に見えない仮想空間が実は、我々のコントロールのきかないところで悪さをするという脅威も増大している。その中で電脳空間の信頼性、安全性、つまりサイバーセキュリティをどう確保していくか。私はもともと財務省から国会議員をやった人間で、主として経済の方をやっていた人間ですので、技術の専門家ではありません。ただ、この問題の本質部分に対処していくには、いま人間の行動や社会の仕組みといった文科系の視点からの政策論が必要となっています。東大では政策提言活動に携わってきましたので、そのような活動をやりながら考えたことをこの本にまとめました。

【質問】この本でより主張したかった“コア”になる部分を教えてください。

【松田学】この本の第1章でおおきくぶち上げたのが「第4の波」ということです。「第3の波」というのは皆さん聞いたことがあると思いますが、アルビン・トフラーが情報革命といいました。情報革命の次の革命として、人間(生体)革命、つまり私達の人間という存在、それが電脳空間と一体化していくと、バーチャルな世界がリアルな実存である肉体や人間の頭脳とが一体化していくって、人間自身が進化を遂げていく。そういう新しいステージに人類は入っていく。そうした科学技術の進歩が未来を切り拓いていく前提となるのが電脳空間の安全性・信頼性であり、サイバーセキュリティは正に「未来社会の番人」であるということが一つ。その完成に向けた道筋を描いてみました。もう一つは、仮想通貨、つまり暗号通貨というものが、これから我々の社会をいかに変え、将来の社会インフラとして重要な役割を担っていくかということについても試論を示しています。

【質問】「松田プラン」とは？

【松田学】アベノミクスがすでに6年続けられています。日本銀行が国債をどんどん買って日銀のバランスシートがものすごく膨らみ、出口に向かってどうすればいいのかということが議論されています。ただ私は、アベノミクスの大成果だと思っているのは、財政が再建されているんですね。よく「統合政府」と言われます。せっかく達成したこの状態を維持するために、日本銀行が持っている国債を、満期が来るたびに、永久国債に乗りかえていき、これを売却しないというアコードを政府と日銀が結ぶ。そしてこれを民間からの求めに応じて政府暗号通貨で償還し、これが市中で使用され、利便性の高い世の中につなげていくということなんですね。その過程で日銀の膨らんだバランスシートも元に戻っていき出口にもなっていく二重三重四重の効果が出てくる。ということで「松田プラン」として本書で初めて世の中に提案させていただきました。これを首相官邸で総理のブレーンの一人として活躍している私の友人が早く安倍総理の耳に入れて欲しいというメールを送ってきたのですが、ぜひ、政策として実現したい大きな柱の一つです。

【質問】今後の出版予定について教えてください

【松田学】この本の内容のうち仮想通貨(暗号通貨)に関しては、現在さらに2つの本の出版を進めています。一つは、一般の主婦の方なども含めてどんな方にも手にとってよんでもらえて、面白いねと興味をもてるような平易な言葉、わかりやすく書く本ということで、「みらいのおかね」という本です。もう一つは、今私と一緒にジュピタープロジェクトというサイバーセキュリティのプロジェクトをやっている、伊藤秀俊さんとの共著の形で、暗号通貨を巡る国家戦略のようなことをまとめています。いずれも近いうちに出ると思います。

【暗号部門】新著アマゾンランキング1位  
「サイバーセキュリティと仮想通貨が日本を救う」



東京大学大学院客員教授として政策提言活動に携わっている著者がサイバーセキュリティについて語ります。先頃のコインチェック問題の背景にもサイバー攻撃が指摘されましたが、いまや国民生活の基盤となっている電脳空間の安全を確保することは、最重要課題。いま話題になっている仮想通貨も、サイバーセキュリティの延長線上に、その健全性が展望できるものだ。暗号通貨は、日本が通貨・金融の切り口とする世界の経済インフラの構築において確かなポジションを取る上での重要な国家戦略になるものだ。



インタビュー動画全体は  
こちらから



書籍はこちら

単行本: 272頁 出版社: 創藝社  
価格: 1,728円

## 松田学 ドローンを活用した西日本豪雨の被災地実証実験に参加 広島



実証実験の結果を住民へ説明

9月15日(土)当研究所代表である松田学が理事長を務める一般社団法人ドローンシティ協会が全国初となるドローンによる産学民3者共同の被災地調査の実施の為、広島県広島市安芸区矢野東地区へ入りました。今年7月に発生した西日本豪雨による甚大な被害はその後大雨のたびに現地住民に大きな不安を与えたままです。防災も大きなテーマに掲げる松田学の(社)ドローンシティ協会と(社)日本防災教育振興中央会が連携し広島工業大学の田中健路准教授の協力のもとボランティアで被災地に入り、衛星写真や現地の地上調査ではわからない地盤や危険地区の調査をドローンを使い実施、即日地元住民への説明会を開催し、現在の状況と危険箇所について報告しました。

## 11/12(月)松田学 産業政策シンポジウムへパネラーとして登壇

11月12日(月)一般社団法人産業法務研究会主催『産業政策シンポジウム』のパネリストの1人として松田政策研究所代表の松田学が登壇いたしました。シンポジウムの登壇者5人中4人が元衆議院議員という豪華なパネリスト陣。松田学代表は1人10分という短い持ち時間の中ではありましたが政策提言・主張においては、未来社会全般にバーチャルとリアル融合、生体革命である“第4の波”を提唱しました。その為にはサイバーセキュリティの重要性を政府も民間も認識すべきでありその先にある暗号通貨とその活用による財政再建の『松田プラン』についても触れました。



## 松田政策研究所 動画コンテンツ紹介

【特番】対談 八幡和郎氏  
「安倍政権の今後は?八幡和郎先生に聞く!」  
八幡和郎氏(政治評論家・徳島文理大学教授)



【特番】対談 藤井巖喜氏  
「米国中間選挙は民主党の惨敗!?!」  
藤井巖喜氏(国際政治学者)



松田政策研究所 YouTube チャンネルでは松田学代表が今まで培ってきた人脈から各界の様々な専門家をお呼びし日本で起こっている問題について対談していきます。

松田政策研究所  
YouTubeチャンネル



## 有料会員スタート!

『未来社会について一緒に考えましょう!』  
2018年11月1日 月額1,000円!(1万円/年)  
【松田政策研究所有料動画会員スタート!】  
松田学が解説する各種シリーズの動画が配信されます。

【松田政策研究所(MPI)動画コンセプト】  
松田学が中心となって研究・実践してきたこれからの日本の未来に関する国家像や社会の在り様について政治・経済・社会・文化・歴史・及び国際関係・科学技術・財政金融・危機管理・安全保障に至るまでをテーマとし松田学を中心とした講師・研究員がお届けする日本人がこれから身に付けるべきインテリジェンス(知恵・知識・教養・謀報・情報)を他にはない”リアルズーム視点”の動画でお届けする番組です。

有料会員登録  
詳細はこちら



松田学  
公式サイト



松田学  
Facebook



松田学  
公式ブログ



松田政策研究所  
動画チャンネル